



iMAR!

【市長講話】

市政の動きについて

令和6年2月8日(木)

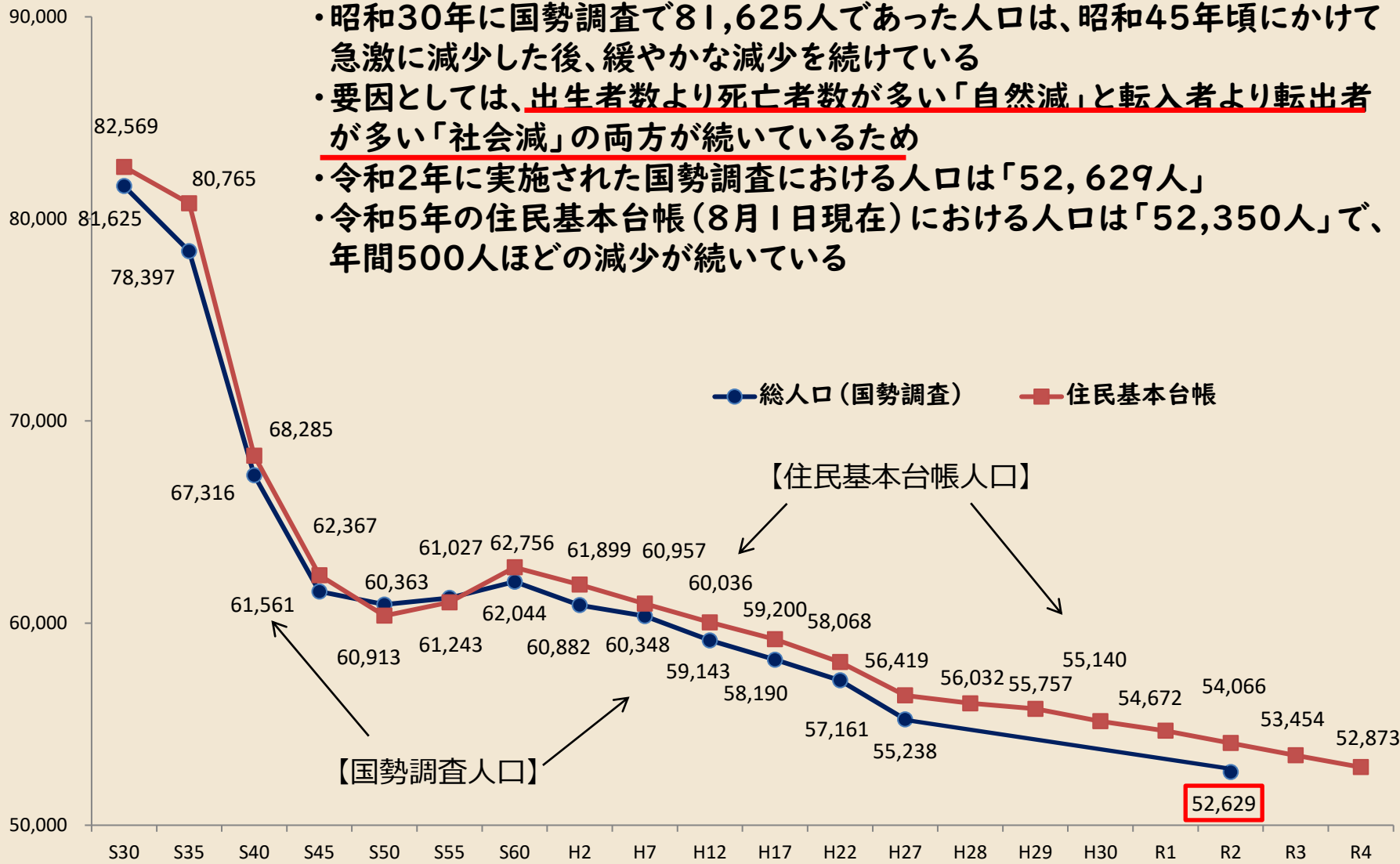
伊万里市長 深浦弘信

本市を取り巻く現状と課題



人口減少社会への対応

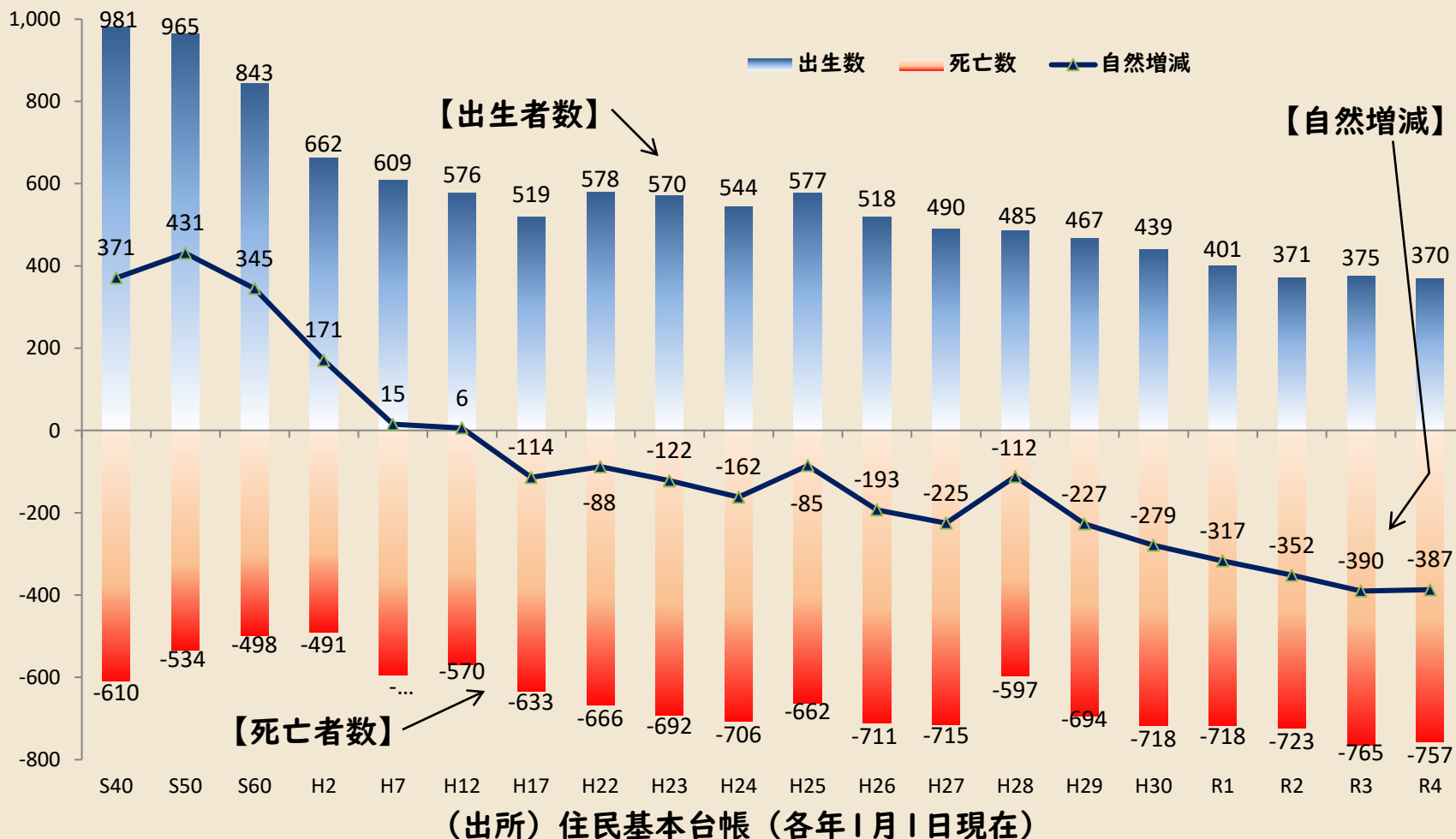
- ・昭和30年に国勢調査で81,625人であった人口は、昭和45年頃にかけて急激に減少した後、緩やかな減少を続けている
- ・要因としては、出生者数より死亡者数が多い「自然減」と転入者より転出者が多い「社会減」の両方が続いているため
- ・令和2年に実施された国勢調査における人口は「52,629人」
- ・令和5年の住民基本台帳(8月1日現在)における人口は「52,350人」で、年間500人ほどの減少が続いている



自然動態（出生数と死亡者数）の推移

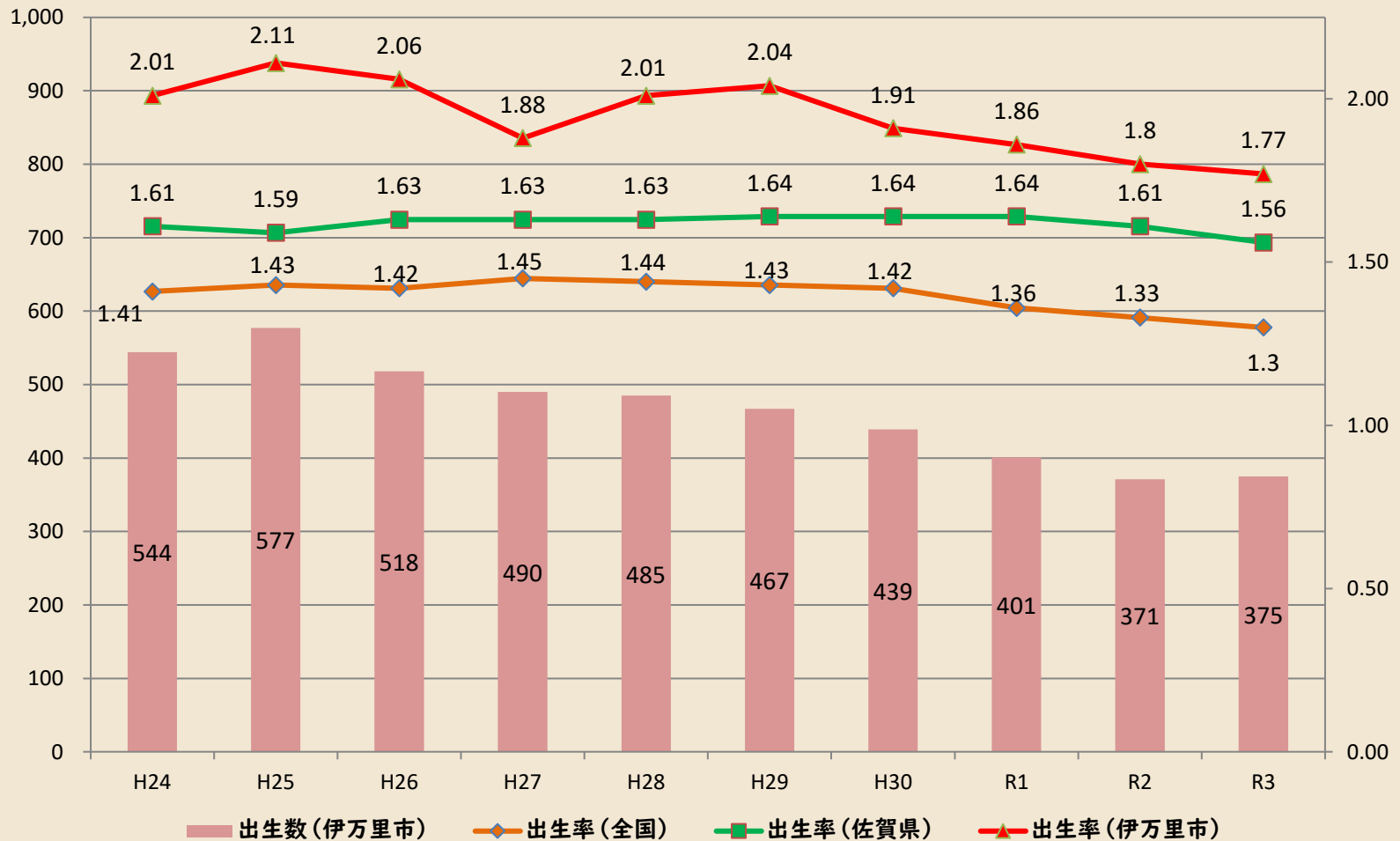
- ・出生者数は昭和40年代にかけ急激に減少した後、緩やかに減少していたが、ここ数年は減少が大きく、令和4年は過去最少の370人となり、昭和40年の約3分の1になっている
- ・死亡者数は、増減を繰り返しながら全体としては増加傾向にあり、その結果、出生者数から死亡者数を差し引いた自然動態は、平成15年から一貫して自然減の状態が続いている

(単位：人)



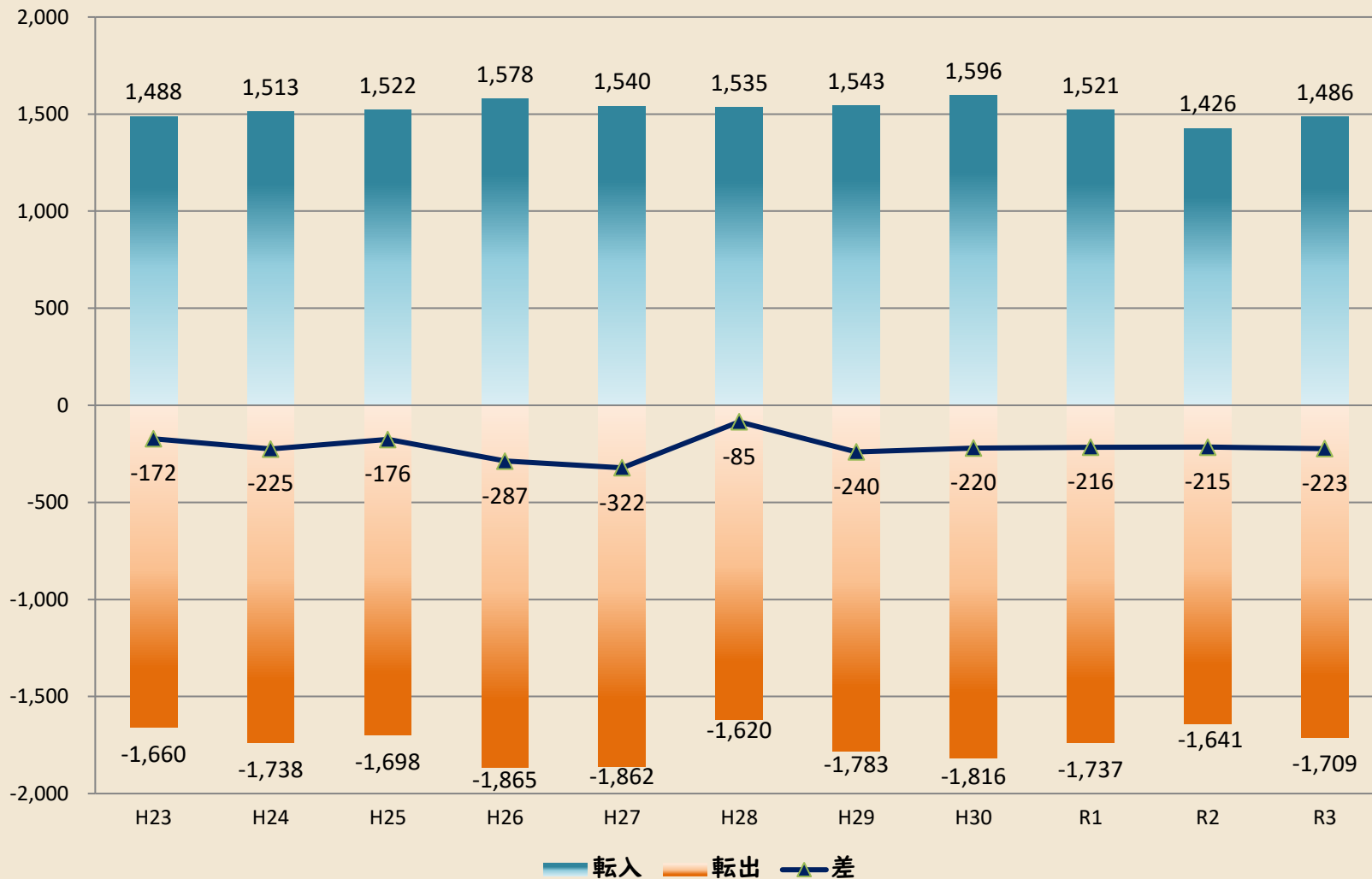
出生数と合計特殊出生率の推移

- ◆本市の合計特殊出生率は平成25年（2013年）に2.11と全国的にも高い数値となり、令和3年（2021年）は1.77（概算値）とやや下がったものの全国や佐賀県と比較し高水準を維持している
- ◆ただ、若い世代の女性の人口が減少していることから、出生数の増加にはつながっていない



社会動態の推移

◆社会動態をしてみると、依然として転出超過の状態が進んでおり、平成29年（2017年）以降は、転出超過数がほぼ横ばいで推移している

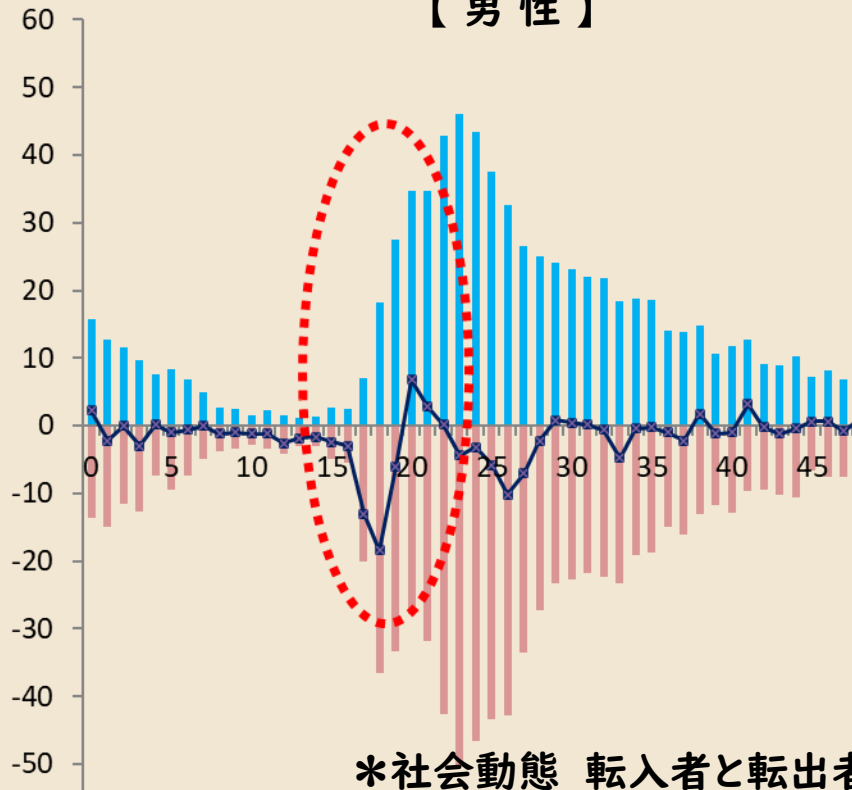


社会動態の推移（男女年齢別 H29～R3平均値）

- ◆ 18歳前後の転出超過が大きく、進学・就職等に伴う転出がその多くを占めている
男女別では、男性は20歳代前半で転入増に転じている（伊万里市に戻ってくる）が、女性は転出超過が回復していない現状が顕著に表れている
- ◆ このため、地元「伊万里」への愛着を持たせる教育や、高等教育機関の誘致、魅力あるしごとの創出など、都市圏にはない地方ならではの魅力を高める環境の整備を図りながら、移住・定住を促進する施策に取り組む必要がある

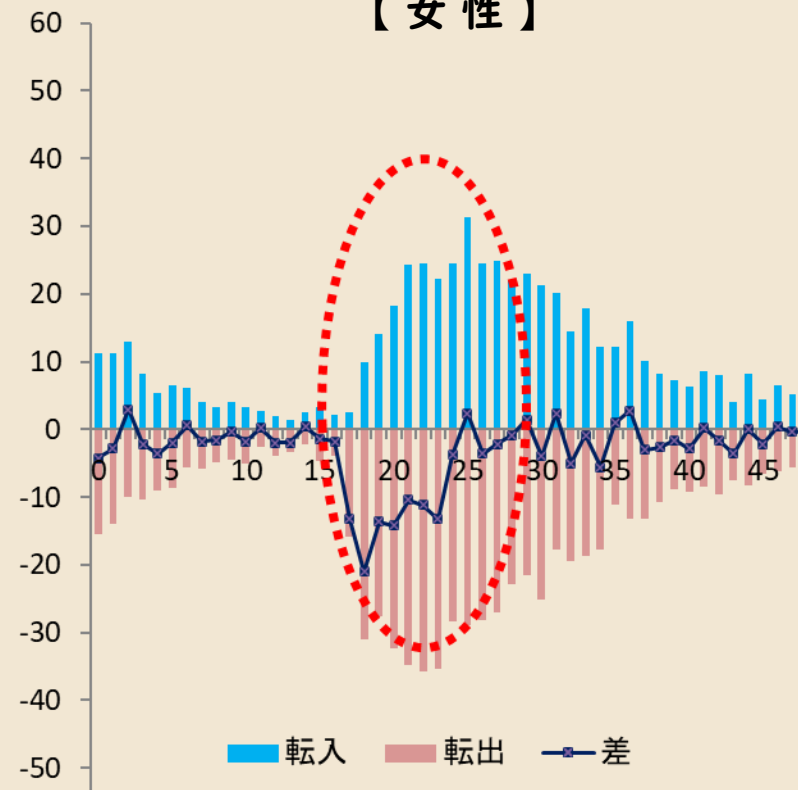
(単位:人)

【男性】

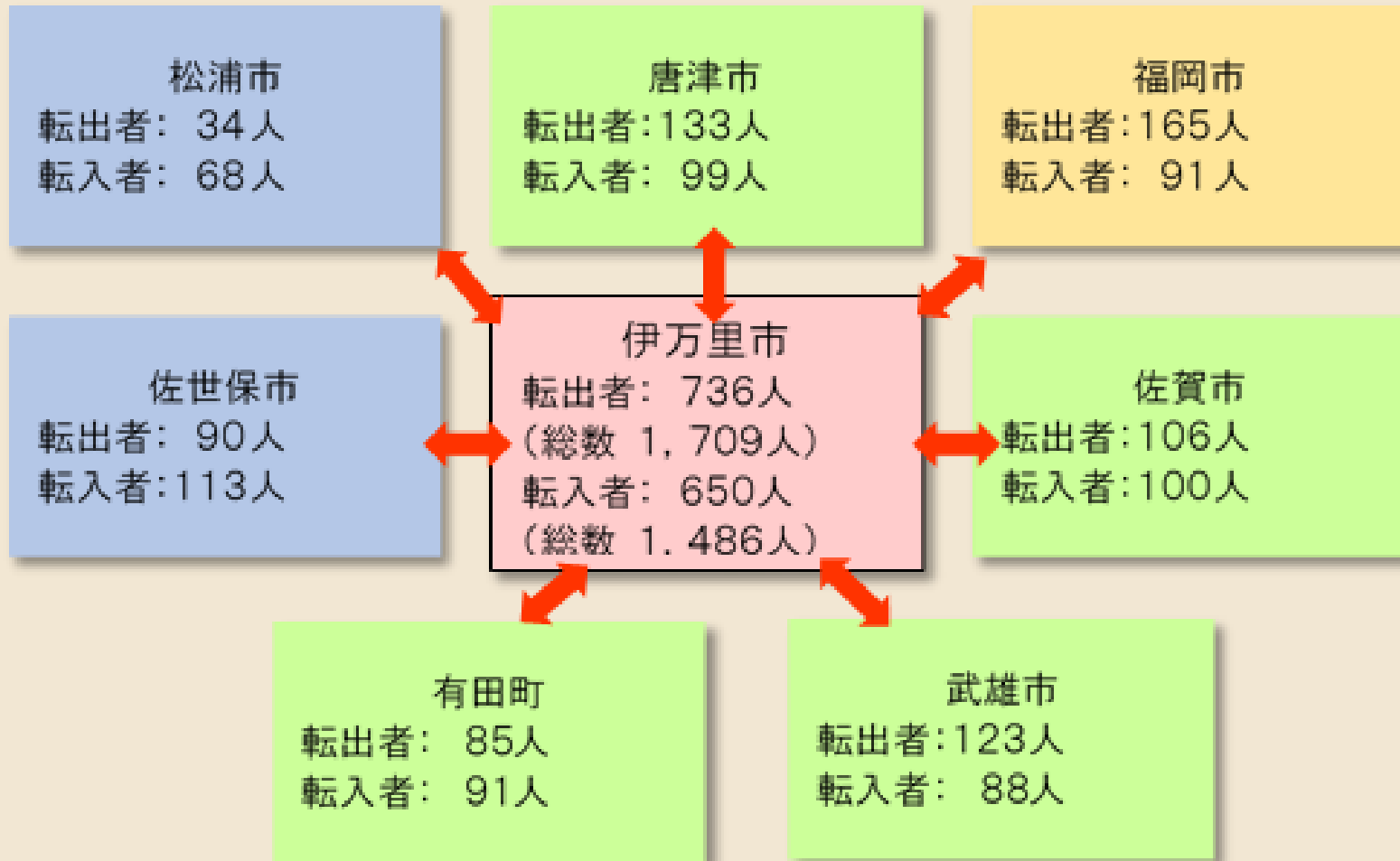


(単位:人)

【女性】

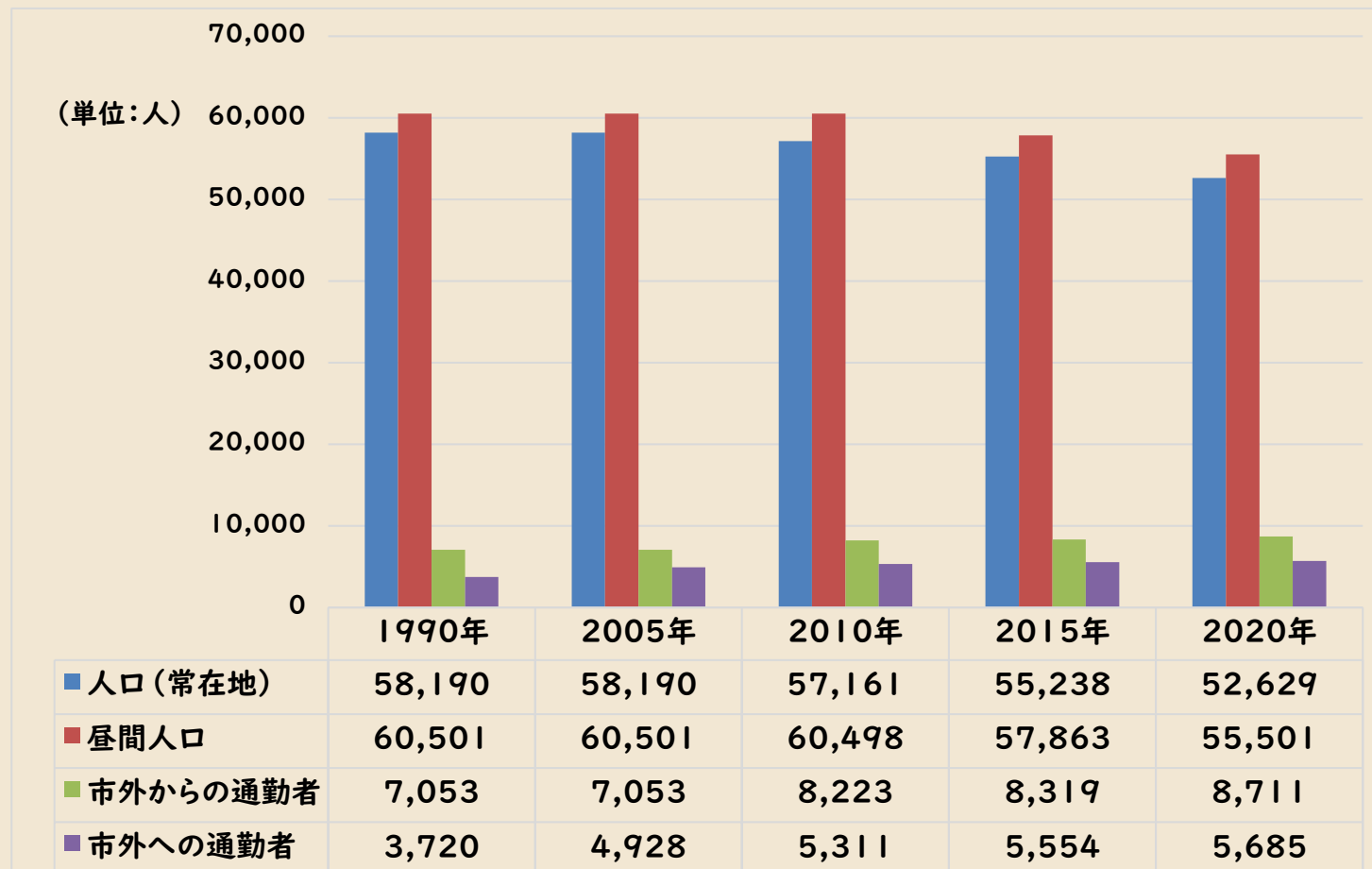


社会動態（本市から近隣自治体への人口移動）



社会動態（昼間人口の推移）

- ◆昼間人口と常住地（国勢調査）人口を比較し、2020年では昼間人口が約3千人多い。
- ◆市外からの通勤者は増加傾向にあり、30年間（1990年と2020年）で2.1倍（4,465人）、15年間（2005年と2020年）で1.2倍（1,658人）増加している。
- ◆ただし、市外への通勤者も年々増加しており、30年間で1.5倍（1,965人）、15年間で1.2倍（757人）増加しているが、差し引きとしては、就業者の流入がほぼ年々増加している。

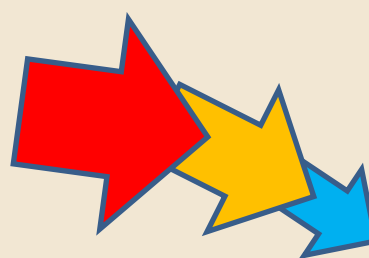


資料：国勢調査

市債（借金）の縮減①

市債残高を5年間で85億円縮減（505億円→420億円へ）

No.	区分	平成29年度末	令和4年度末	差引
1	一般会計	218億4,955万円	212億6,787万円	△ 5億8,168万円
2	国民健康保険（特別会計）	2億5,000万円	5,000万円	△ 2億円
3	水道事業（企業会計）	55億1,156万円	52億1,012万円	△ 3億 144万円
4	工業用水道事業（企業会計）	119億 503万円	80億7,960千円	△38億2,543千円
5	下水道事業（農業集落排水事業含）	110億5,382万円	74億3,189万円	△36億2,193万円
	合計	505億6,996万円	420億3,948万円	△85億3,048億円



*令和2年度から公共下水道事業と農業集落排水事業を統合し、特別会計から企業会計へ移行

市債（借金）の縮減②

◆健全化判断比率の改善 この指標は値が小さいほど財政が健全であることを示す

○実質公債費比率（早期健全化基準25%）

No.	市町名	平成29年度	順位	令和4年度	順位	差引
1	佐賀市	2.9	1	2.0	3	-0.9
2	唐津市	13.5	18	12.6	20	-0.9
3	鳥栖市	6.9	7	0.3	2	-6.6
4	多久市	10.9	14	12.1	19	1.2
5	伊万里市	16.0	20	8.5	9	-7.5
6	武雄市	7.9	10	9.9	16	2.0
7	鹿島市	6.3	6	8.6	10	2.3
8	小城市	4.7	4	8.4	7	3.7
9	嬉野市	8.3	11	9.1	14	0.8
10	神埼市	11.3	16	8.8	11	-2.5
11	吉野ヶ里町	11.2	15	8.9	12	-2.3
12	基山町	10.6	13	7.0	5	-3.6
13	上峰町	13.6	19	9.0	13	-4.6
14	みやき町	11.6	17	9.6	15	-2.0
15	玄海町	3.6	3	0.0	1	-3.6
16	有田町	7.2	8	8.4	7	1.2
17	大町町	5.2	5	7.5	6	2.3
18	江北町	9.3	12	11.9	18	2.6
19	白石町	7.5	9	10.1	17	2.6
20	太良町	3.5	2	5.5	4	2.0
県平均		8.6		7.9		-0.7

平成29年度	令和4年度	差引
-	-	-
109.9	114.4	4.5
-	-	-
-	-	-
91.3	33.5	-57.8
36.7	22.2	-14.5
113.3	93.5	-19.8
-	-	-
69.3	-	-69.3
35.3	37.0	1.7
-	-	-
31.3	-	-31.3
-	-	-
-	-	-
-	-	-
54.2	-	-54.2
8.5	-	-8.5
-	-	-
15.8	-	-15.8
-	-	-
56.6	60.1	3.5

○将来負担比率（早期健全化基準350%）

◆一般会計の普通預金に当たる財政調整基金や借金の返済に充てる減債基金など、令和4年末で10の基金がある

No.	区分	平成29年度末	令和4年度末
1	財政調整基金	12億 834万円	27億6,030万円
2	減債基金	5億 543万円	7億 913万円
3	公共施設整備基金	3億1,437万円	8億6,467万円
4	城Ⅱ灌漑揚水維持管理基金	8,891万円	7,518万円
5	国民健康保険基金	2万円	5億9,177万円
6	介護保険基金	3億 598万円	6億9,086万円
7	教育振興奨励基金	654万円	5,513万円
8	まちづくり基金	3億5,206万円	4億9,026万円
9	福祉基金	3億 808万円	4億2,667万円
10	ふるさと応援基金	9億3,350万円	32億4,418万円
11	広域ごみ処理施設建設に係る地域振興基金	4億1,307万円	-
12	その他	1億4,871万円	-
	合計	45億8,501万円	99億 815万円

差引 **53億2,314万円**

全ての企業会計で収益的収支の黒字化達成

○平成29年度

会計区分		収入	支出	差引
水道事業	収益的	14億2,776万円	13億8,339万円	4,437万円
	資本的	8億6,117万円	14億1,440万円	△5億5,323万円
工業用水道事業	収益的	9億9,285万円	10億8,763万円	△9,478万円
	資本的	6億4,160万円	8億384万円	△1億6,224万円
下水道事業(農業集落排水事業含)		24億1,674万円	25億7,983万円	△1億6,309万円
伊万里有田共立病院	収益的	38億1,252万円	38億8,603万円	△7,351万円
	資本的	1億3,682万円	2億3,828万円	△1億146万円

○令和4年度

会計区分		収入	支出	差引
水道事業	収益的	15億1,737万円	14億3,520万円	8,217万円
	資本的	3億3,369万円	8億6,190万円	△5億2,821万円
工業用水道事業	収益的	10億1,709万円	9億9,823万円	1,886万円
	資本的	6億4,086万円	8億222万円	△1億6,136万円
下水道事業	収益的	13億3,638万円	12億6,300万円	7,338万円
	資本的	10億9,488万円	14億1,196万円	△3億1,708万円
伊万里有田共立病院	収益的	51億3,802万円	42億7,273万円	8億6,529万円
	資本的	1億7,206万円	3億297万円	△1億3,091万円



*令和2年度から公共下水道事業と農業集落排水事業を統合し、特別会計から企業会計へ移行
*税込の金額で記載

ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度

個人版

個人版ふるさと納税とは

1. 税金の控除が受けられる
(寄附上限額は、住民税の2割が目安)
2. 伊万里市の特産品がもらえる
伊万里牛・伊万里梨・伊万里焼など
1,000種類以上の豊富な特産品!
3. 寄附金額
 - ・令和元年度 17億1,164万円
 - ・令和2年度 20億4,118万円
 - ・令和3年度 27億 473万円
 - ・令和4年度 29億3,068万円

寄附金の使い道が選べます

- ①活気あふれるまちづくり
- ②行きたいまちづくり
- ③子育てしやすいまちづくり
- ④安心ですみたいまちづくり
- ⑤市長おまかせ(個人版のみ)

企業版

企業版ふるさと納税とは

1. 税金(法人関係税)の控除が受けられる
(最大約9割、返礼品がない等一部制約あり)
2. 国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトへの寄付が対象
3. 寄附金額
 - ・令和3年度 50万円(1件)
 - ・令和4年度 1,040万円(3件)



課題解決に向けた
「いまり STEP UP プロジェクト」



○期間：【全体】令和元年度～令和8年度（8年間）

・前期基本計画 令和元年度～令和4年度（4年間）

・後期基本計画 令和5年度～令和8年度（4年間）

基本理念

時代に柔軟に適応し、
みんなで支え育てるまちづくり

将来都市像



「いまり STEP UP プロジェクト」の推進による九州西北部における活力創造拠点へ

Support

支援

【重点施策1】未来を託す子育て応援都市

子どもと子育て世代の安心な暮らしを全力でサポートし、子育て世代が魅力を感じるまちづくりを目指す。

Technology

技術

【重点施策2】未来を先取るデジタル都市

デジタル技術等のテクノロジーをまちづくりに活用し、地方都市での不便さを感じることなく誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す。

Economy

経済

【重点施策3】競争に打ち勝つ産業都市

伊万里ブランドなど本市ならではの魅力を効果的に活用して、地場産業を振興し地域経済の活性化を図る。

Port

港

【重点施策4】世界に向けた港湾都市

アジア諸国との近接性と平穏で深い水深を持つ、西九州随一の良港である伊万里港の強みをいかす。

SDGs

持続可能

【重点施策5】SDGs推進都市

移住・定住を促進するための施策の展開や脱炭素社会の構築など、SDGsの推進により、若者が希望を持って暮らすことができる、豊かで活力のある誰一人取り残さない「未来につながる持続可能都市」を目指す。

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2023年版の推進

第6次総合計画後期基本計画（令和5年度～令和8年度）で重点施策に位置付けた5つの都市像の実現に向けた取組を進め、九州西北部における活力創造拠点として持続的な発展を目指す。

-
- ① 未来を託す子育て応援都市
 - ② 未来を先取るデジタル都市
 - ③ 競争に打ち勝つ産業都市
 - ④ 世界に向けた港湾都市
 - ⑤ SDGs推進都市

Support

支援

子どもと子育て世代の安心な暮らしを全力でサポートし、子育て世代が魅力を感じるまちづくりを進める。

1 教育環境の整備

- ・東山代小学校とコミュニティセンター、留守家庭児童クラブの複合施設の整備
- ・給食センターの設備を更新しアレルギー対策を施す大規模改修 など

2 子育て支援の拡充

- ・子どもの貧困やヤングケアラーなど困難な環境を抱える子どもへの相談や支援
- ・公私連携による保育園の運営や建替えへの支援、高等教育機関の誘致など

3 子どもの遊び場の整備

- ・いまり夢みさき公園を中心とした地域の基幹的な公園の整備
- ・インクルーシブ遊具の設置など、障がいの有無に関わらず健康的に過ごす公園の整備など

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2023年版の推進

①未来を託す子育て応援都市 (Support・支援)

②未来を先取るデジタル都市

「子育て・若者成長応援パッケージ」として、3つの視点から子育て支援施策を展開する

- ①子どもの成長と子育てを「支える」
- ②若者が伊万里で子育てしたいと「感じる」
- ③子育ての場として「選ばれる」

① 未来を託す子育て応援都市

「子育て・若者成長応援パッケージ」

1. 子どもの成長と子育てを「支える」取組

経済的、精神的負担の軽減による支援

【学校給食センター】



(1) 経済的支援

① 子どもの医療費の助成

- ・高校生等の入院費の一部助成を追加
- ・就学前児童の医療費個人負担分を
県内の市では初めて実質無料化（後日市役所での手続きが必要）

② 学校や保育園等の給食費の高騰分の補助

- ・学校では令和5年度からの値上げ額を補助 *当初予算と5月補正で1/2づつ予算化
(小学校4,100円→4,500円 増額400円分 中学校4,800円→5,300円 増額500円分)

(2) 精神的支援

- ① 妊娠期から出産、子育て期まで一貫した伴走型の相談支援の充実と「出産・子育て応援給付金」の
給付（妊娠届出時と出生届出後の面談後に各5万円）

公立保育園の民営化による財政的効果を生きて支援施策に活用し、保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、令和6年度から保育料を下記のとおり改定する。

新たな保育料については、これまでの伊万里市の保育料が、国の基準に対して階層毎の負担に差があったため、全階層の保育料を国の基準額の70%の額に設定。

第8階層については、急激な保護者負担の増加を避けるため、経過措置を設ける。

(単位：円)

階層	市町村民税 所得割額	標準時間保育料（月額）		
		現行	改定後	現行との差額
1	生活保護世帯	0	0	0
2	市町村民税非課税	0	0	0
3	48,600円未満	19,000	13,600	▲ 5,400
4	48,600円以上 97,000円未満	27,000	21,000	▲ 6,000
5	97,000円以上 169,000円未満	41,000	31,100	▲ 9,900
6	169,000円以上 301,000円未満	54,000	42,700	▲ 11,300
7	301,000円以上 397,000円未満	54,000	56,000	2,000
8	397,000円以上	54,000	72,800	18,800

※県内10市で
トップレベルに
安い水準の保育料となる。

【第8階層経過措置】

令和6年度：60,200円

令和7年度：66,500円

令和8年度から改定後額

①未来を託す子育て応援都市

「子育て・若者成長応援パッケージ」

2. 若者が伊万里で子育てしたいと「感じる」取組

子どもの経験や体験の場が充実し子どもが自らの力で育つ「子育て」を支援

(1) 学校内の活動

①ICT教育の推進

1人1台の学習用端末とデジタルドリルの活用などによる一人ひとりの理解度に応じた教育の推進



【学習用端末活用】

(2) 学校外の活動

①SDGsの啓発

持続可能なまちづくりに向けた市民の意識向上

*小学生工場見学、食品ロス講座、子育てカフェ講座など



【段ボール工場見学】

(3) 高等教育機関の誘致

①県立大学の誘致の推進 *産業界との連携

若者の市外流出抑制と専門性の高い優秀な人材の確保

① 未来を託す子育て応援都市

「子育て・若者成長応援パッケージ」

3. 子育ての場として「選ばれる」取組

子育て情報の発信、公園や学校等の整備など充実した子育て・教育環境への支援

(1) 子育て情報の発信

① SNSや情報誌等を活用した本市の子育て情報を近隣市町を含めて発信

【インクルーシブ公園 (写真は神崎市)】



(2) 子育て環境の整備

① 公園の再生

伊万里ファミリーパークへのインクルーシブ遊具の設置や国見台公園等の老朽化した遊具の更新

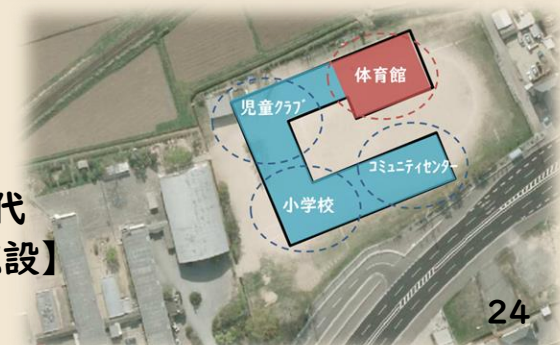
② 教育環境の整備

老朽化した東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備 (令和5年度～令和7年度)

③ 通学路等の安全対策

学校から500M以内、防護柵・区画線等の設置

【東山代
複合施設】



① 未来を託す子育て応援都市

「子育て・若者成長応援パッケージ」

○いまり夢みさき公園にインクルーシブ遊具の整備

令和4年度整備

【複合遊具】



【パーキングパーミット】



令和5年度整備予定

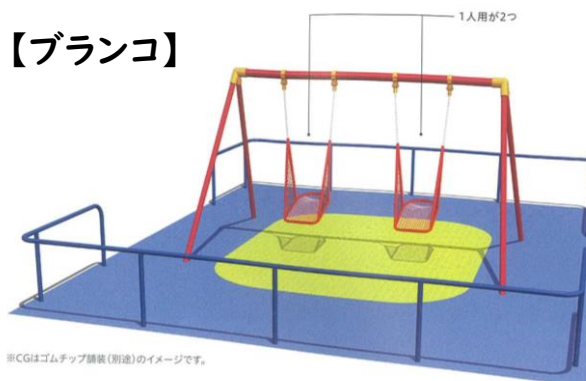
【回転遊具】



【ジム遊具】



【ブランコ】



国見台公園総合整備(構想)

国見台公園の体育館・武道館(スポーツ施設)が建て替えの時期を迎えていることから、公園エリアを含めた総合整備を「スポーツ」、「健康」、「憩い」、プラス「防災」の視点で検討を進める。



○事業スケジュール

〈令和5年度〉

- ・基本構想の策定

〈令和6年度以降〉

- ・基本計画の策定・基本設計

- ・実施設計・工事

※スケジュール及びゾーンニング

のいずれも検討段階

Technology

技術

デジタル技術等のテクノロジーをまちづくりに活用し、地方都市での不便さを感じることなく誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す。

1 産業DXの推進

- ・IT関連企業との交流・連携の推進
- ・観光など情報発信の強化
- ・スマート農林漁業の導入促進による作業の省力化 など

3 地域DXの推進

- ・回覧板の電子化や公共教育施設等の予約システムの構築
- ・災害情報の迅速で的確な発信
- ・ICT講習会や高齢者向けスマートフォン教室の開催 など

2 行政DXの推進

- ・行政手続きオンライン化やキャッシュレス決済の推進
- ・窓口のデジタル化や業務診断によるデジタル化の推進と業務の効率化 など

4 教育DXの推進

- ・プログラミング教育の推進
- ・誘致IT企業と連携したICT支援員の配置と学校でのICT活用推進
- ・デジタル技術を活用した教職員の業務効率化
- ・オンライン授業の実施 など

基本方針

「いまりSTEP UP プロジェクト」2023年版の推進

①未来を託す子育て応援都市

②未来を先取るデジタル都市 (Technology)

③競争に打ち勝つ産業都市

国が取り組む「デジタル田園都市国家構想」を追い風に市民生活のあらゆる場面でDXを推進し、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す

①産業DX ②行政DX ③地域DX ④教育DX

② 未来を先取るデジタル都市

デジタル田園都市構想実現に向けた まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

1. 産業DXの推進

(1) 事業所

- ① DXセミナー等の開催や中小企業のDX促進を支援

(2) 農業

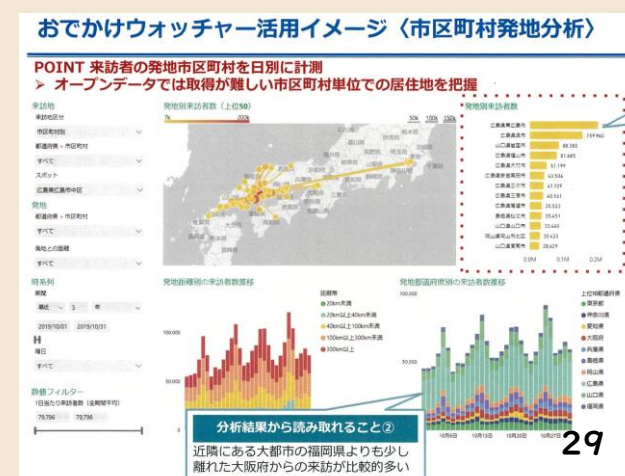
- ① 農業DX推進協議会を設立しスマート農業導入促進

(3) 観光

- ① 人流や宿泊予約状況などのビッグデータを分析し
戦略的な施策の展開



【ビッグデータ 収集・分析】



2. 行政DX

(1) オンライン化の推進

- ① 証明書等の申請手続きや集団健診等の予約受付、
アンケートなど

② 未来を先取るデジタル都市

デジタル田園都市構想実現に向けた まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

1. デジタル田園都市国家構想交付金を活用したDXの推進

国の採択を受けた下記4事業(約1億9百万円)に取り組む(6月補正予算) 【1人1台学習用端末の活用】

(1) 「書かない窓口」の導入

市民課等での行政手続きをシステム化し、手書きによる煩雑さや誤記入の防止、手続き時間の短縮などによる市民サービス向上



(2) 学校のICT化

子どもたちの情報活用能力の育成や創造性を育む教育を実現するために導入した児童生徒一人一台の端末を活用した、デジタルドリルによる個別最適化された学習や成績処理等の教職員業務の効率化

(3) 子育てDX

母子健康手帳アプリを活用した手続き等の時間短縮や成長に応じた子育て情報の提供

【母子手帳
アプリ】

(4) 公立保育園のICT化

保育システム導入による保護者との連絡、出席確認、報告業務等を効率化



Economy

経済

伊万里ブランドなど本市ならではの魅力を効果的に活用して、地場産業を振興し地域の経済の活性化を図る

1 農業の振興

- ・新規就農者の就農後に要する経費や機械等の導入の支援
- ・伊万里牛や伊万里梨などの産地の維持と振興
- ・ふるさと応援寄附を活用した農業者への支援の充実 など

2 観光の振興

- ・インフルエンサーを起用したプロモーション活動による観光地への誘客の強化
- ・伊万里焼や食、体験など伊万里ブランドが持つ強みを活用した観光客数の拡大
- ・道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」の再生支援 など

3 商工業の振興

- ・地域おこし協力隊を活用した中心市街地へのIT企業など事務系企業の誘致
- ・伊万里焼の伝統技術の継承等の取組への支援
- ・駅前広場等の有効活用や遊休地の利用促進等による伊万里駅周辺の開発 など

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2023年版の推進

①未来を託す子育て応援都市

②未来を先取るデジタル都市

③競争に打ち勝つ産業都市 (Economy・エコノミー)

④世界に負けない経済都市

⑤SD

福岡市と西九州自動車道で直結する利点を最大限にいかし、伊万里ブランド、造船や半導体関連企業が集積する本市のポテンシャルの高さをアピールした更なる活性化を図る

①農業の振興 ②観光の振興 ③商工業の振興

③競争に打ち勝つ産業都市

時流を捉えたシティプロモーション活動と中心市街地の活性化

1. 観光の振興

(1) プロモーションの拡充

在福民放やシティプロモーションサポーター、インフルエンサーなど様々な媒体を活用した戦略的な活動

(2) リブランディングの取組

ブランディングアドバイザーと連携し、従来からある本市の観光資源の価値を再評価し新たな魅力の創出

(3) 大川内山の新たな観光の魅力

環境にやさしい低速の電動車を活用した移動サービス「グリーンスローモビリティ」の導入による魅力向上

(4) 道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」の再生支援

施設の現状を把握・分析し、具体的な再生案の検討に取り組む
伊万里市農業協同組合に補助金を交付

【公式Instagram】



【シティプロモーション公認サポーター 石本 愛氏】



【グリーンスローモビリティ】



③競争に打ち勝つ産業都市

時流を捉えたシティプロモーション活動と中心市街地の活性化

2. 商工業の振興

(1) 伊万里駅にフリースペース

「YOTTOKO (よっとこ) 設置

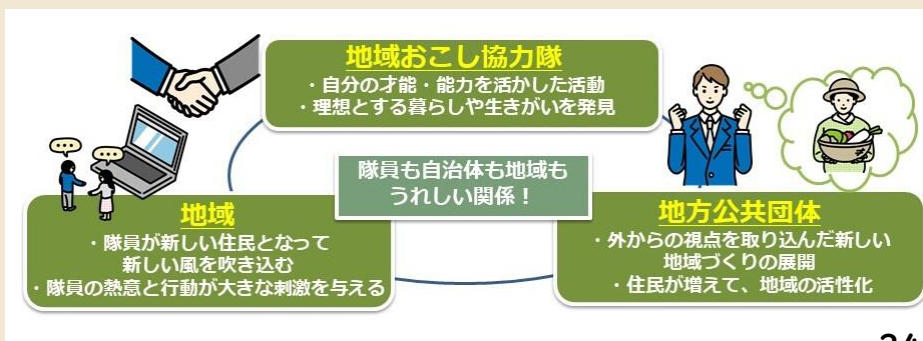
令和5年6月1日、伊万里市東駅ビル1階テナントにオープン。高校生等の市民やビジネス客等の駅利用者の休憩、まちづくり団体等のイベント用スペースに活用

・利用実績 約450人/月



(2) 企業委託型地域おこし協力隊の活用

中心市街地の活性化に向け、IT企業等の事務系企業の誘致や起業支援による若者の就業機会の創出のほか、空き店舗に新規出店する際の改装費の補助



③競争に打ち勝つ産業都市

時流を捉えたシティプロモーション活動と中心市街地の活性化

2. 商工業の振興

(3) 伊万里駅周辺活性化プロジェクトの推進

「伊万里市の玄関口」である伊万里駅周辺に賑わいを創出するため、これまで駐車場としての利用に留まっていた市営駅前駐車場の用地を活用し、民間提案による新たな事業を実施する。

- 事業者 株式会社アイ・エス
- 開業時期 2025年(令和7年)の開業を予定
- 建物概要 ホテル(地上10階建て、客室数125室)

⇒カフェ、温浴施設やオフィススペースのほか、市民が自由に利用できる公共スペースや情報発信ブースの設置が計画されている。



Port

港

アジア諸国との近接性と平穏で深い水深を持つ、西九州随一の良港である伊万里港の強みを生かす。

1 ポートセールスの充実

- ・荷主や船社等の訪問
- ・伊万里港セミナーの実施 など

3 港湾機能の強化

- ・コンテナヤードや臨港道路等の整備促進
- ・国際コンテナ航路の維持拡大や集荷活動の強化 など

2 伊万里港の長期構想策定の促進

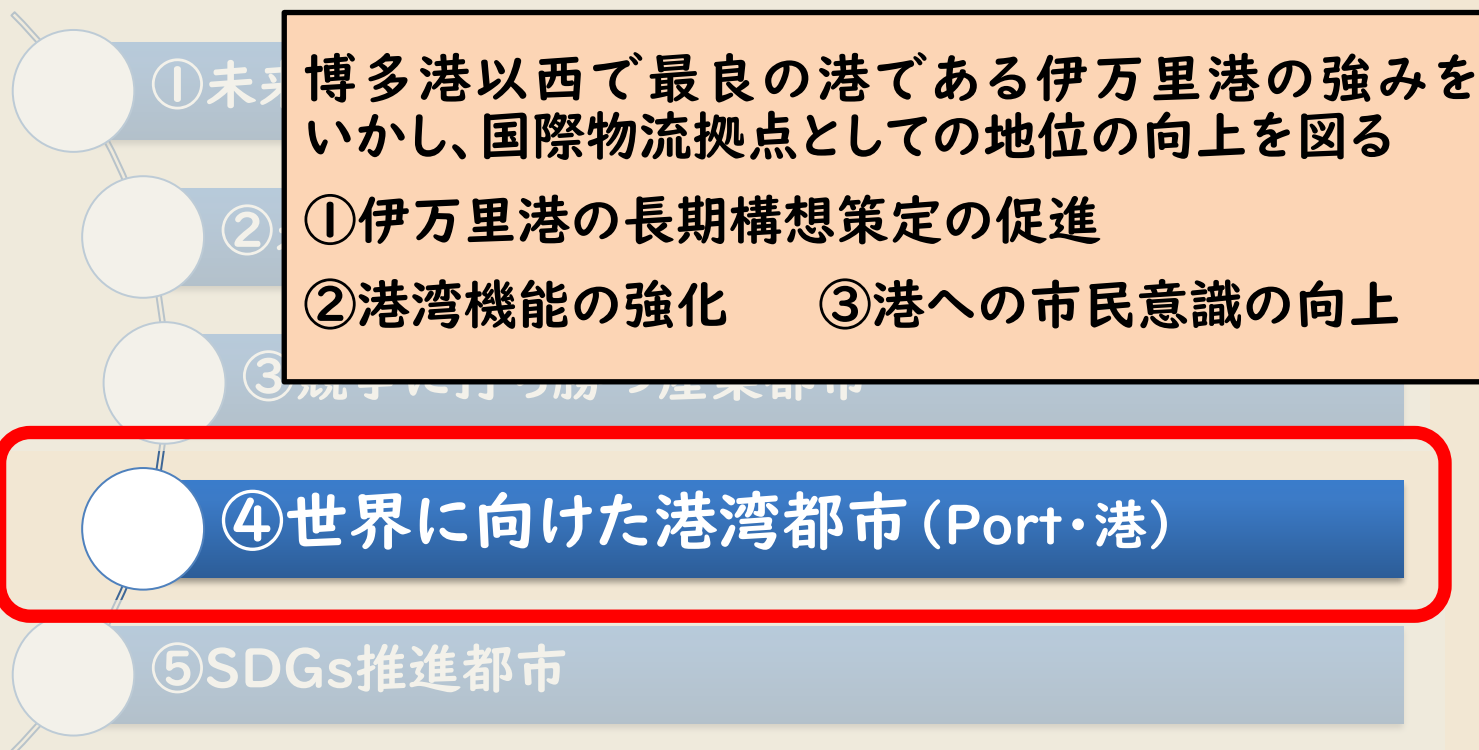
- ・港湾計画策定の促進
- ・浦ノ崎地区廃棄物処理用地の活用
- ・洋上風力発電に関係する企業などの誘致 など

4 港への市民意識の向上

- ・海に親しむ公園等の整備
- ・伊万里港を活用したイベントの開催
- ・海洋レジャー等の体験スポットの周知 など

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2023年版の推進



④ 世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

1. 伊万里港の長期構想策定の促進

(1) 浦ノ崎地区の開発促進

- ① 洋上風力発電の関連企業の誘致等に向けた協議会の設立
- ② 佐賀県と一体となった中長期ビジョンの策定や港湾計画の改訂
- ③ 令和4年9月に、洋上風力発電の基地港湾に立候補（全国で11港）

【浦ノ崎地区廃棄物処理用地】



【先進地秋田港の風力発電】



④ 世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

2. 港湾機能の強化

(1) 佐賀県伊万里港振興会への支援

- ① アジアに開かれた重要港湾「伊万里港」
 - ・釜山や大連、上海など4航路・週8便の定期航路が就航（九州第4位のコンテナ取扱量）
- ② 東南アジアや台湾との直行航路の誘致促進

【七ツ島地区 国際コンテナターミナル】



【伊万里ファミリーパーク】



3. 港への市民意識の向上

(1) 海に親しむ公園の整備検討

市民の港への意識向上を図るため、伊万里ファミリーパークやその周辺などに海をいかした公園の整備を検討

1. 臨港道路久原線の4車線化

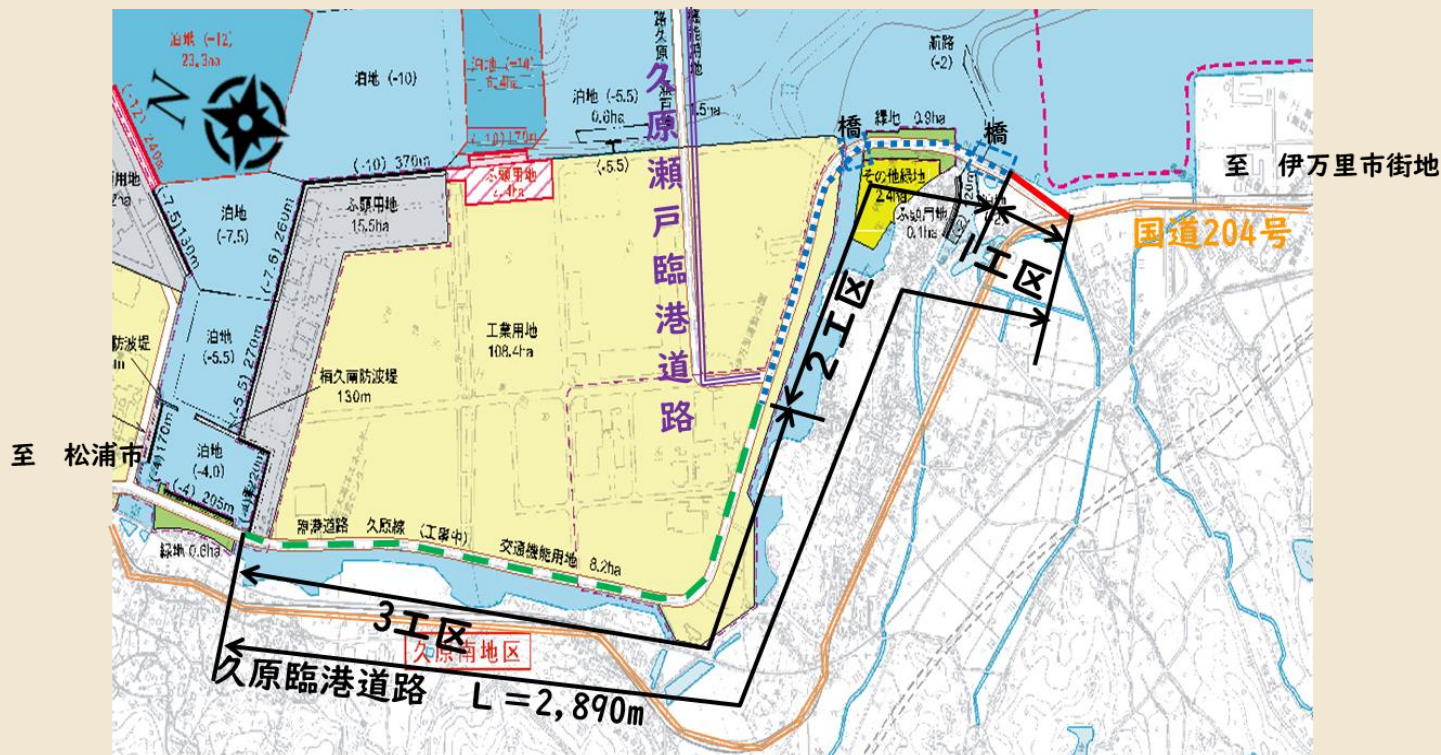
*佐賀県による整備

○区 間:楠久津交差点 ~ 久原原橋

○延 長:2,890m

○事業期間:令和5年~未定(予算状況や設計内容により変動)

○事業概要:臨港道路久原線は、暫定2車線で供用しているところ、伊万里団地内の企業の工場増設に伴って、物流・人流の更なる増加により、朝夕の通勤時間帯に発生している慢性的な渋滞が更に悪化する懸念があることから、4車線化の整備を行うもの



UP

持続可能

「いまりSTEP UPプロジェクト」を推進するため、移住定住策の展開や脱炭素社会の構築など、SDGsの推進により、若者が希望を持って暮らすことができる、豊かで活力のある誰一人取り残さない「未来につながる持続可能都市」を目指す。

1 職員の意識改革と市民への啓発

- ・すべての事業のSDGsへの結び付け
- ・17のゴールをテーマにしたトライアル事業の実施
- ・地方創生の取組と地域課題解決に向けた研究 など

2 脱炭素社会の構築

- ・カーボンニュートラルの実現に向けた取組推進
- ・再生可能エネルギーの普及・啓発
- ・省エネ活動の啓発と実践活動の促進 など

3 移住・定住施策の強化

- ・移住相談会の開催や移住情報の発信など移住プロモーション活動
- ・移住支援金等を活用した移住者支援
- ・あらゆる機会を捉えた関係人口の創出
- ・ワーク・ライフ・バランスなど働き方や暮らし方の意識改革の取組を推進 など

4 伊万里市版SDGsの推進

- ・散弾銃射撃場の鉛汚染対策
- ・高齢者が元気に活躍できる地域づくり
- ・複合化施設の整備による市街地の一体的開発の検討 など

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2023年版の推進

① 未来を託する子育て応援都市

②

伊万里市版SDGsの取組を展開し、将来世代に引き継ぐことのできる持続可能な伊万里市づくりを推進する

① 市民への啓発

② 脱炭素社会の構築

③

③ 移住・定住施策の強化

④ 伊万里市版SDGsの推進

④ 世界に向けた港湾都市

⑤ SDGs推進都市

⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

1. 市民への啓発

〇いまりSDGsスクールの開催

子どもや子育て世代、高齢者など様々な世代に学習機会を提供し浸透を図る

- ・段ボール工場見学（環境 対象：小学生）G⑫つくる責任つかう責任
- ・eスポーツ体験（福祉 対象：高齢者）G③すべての人に健康と福祉を
- ・子育て応援カフェ（子育て 対象：保護者）G④質の高い教育をみんなに

【eスポーツ 太鼓の達人】



2. 脱炭素社会の構築

(1) 市民図書館を環境学習の拠点となる

「カーボン・ニュートラル・ライブラリー(CNL)」へ

衣料品通販王手「ZOZO(ゾゾ)」の創始者の前澤友作氏の寄附などを活用し、令和7年7月の開館30周年に向け、市民図書館の特色をいかし、環境学習機能を備えた脱炭素(低炭素)のシンボル施設化を目指した検討を行う

【市民図書館への設置イメージ】



⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

3. 移住・定住施策の強化

本市のトータルプロモーションの柱に位置付け、移住者のニーズを把握し定住を促す活動を強化する

- ・移住に関する情報発信の強化
- ・「いまり暮らしスタート支援金、新築・空き家購入等移住奨励金、実家に帰ろう住宅改修等支援金」等の移住奨励金等の交付
- ・移住体験ツアーの開催 など

＼ 移住するなら伊万里で**決まり**！ ／

新しい仕事、生活を伊万里で始めませんか？

伊万里市は地域をあげて皆さんの移住定住をしっかりサポートします。

★いまり暮らしスタート支援金

伊万里市外在住の49歳以下の方で、就業マッチングサイト「伊万里ふるさと企業ガイド」又は「さがUターンナビ」で求人を行う企業に就業し、移住すれば・・・

最大で
単身 60万円
世帯 100万円



の支援金制度が活用できます。

【いまり暮らし体感ツアー】



⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

4. 伊万里市版SDGsの推進

(1) 散弾銃射撃場の汚染土壌の処理

長年の課題である散弾銃射撃場内のスキート射場の高濃度に汚染された土壌の撤去・処分の開始

(2) 地域課題の解決や賑わいづくり

①地域おこし協力隊員の活用

東山代町川内野地区(2年目)、二里町中里地区(1年目)で地域支援活動による地域力の維持強化
川内野地区では新たにテントサウナイベント開催

②地域活性化起業人の活用

学生や子育て世代など多くの若者を市外から呼び込み関係人口を創出する取り組みの実施

【鉛の現状】



年月が経ち数ミリの小さな粒となっている

【散弾銃射撃場】



【直売所に野菜の共同出荷】



【テントサウナ】



☆高齢者が元気に活躍できる地域づくりの推進①

令和4年度に、高齢者が交流やレクリエーションをとおして、コミュニティセンターを憩いの場とする「高齢者はつらつ事業」を各地区で実施

伊万里

【ニュースポーツ用具(ワナゲ)】



牧島

【フィットネス器具(マルチジム)】



大坪

【蕎麦作りセット】



立花

【カラオケシステム】



大川内

【フィットネス器具
(リカンベントバイク)】



黒川

【百歳体操用モニター】

☆高齢者が元気に活躍できる地域づくりの推進②

波多津

【テレビ、佐賀にわかDVD】



南波多

【百歳体操用モニター】



大川

【映画上映用プロジェクター、DVD】



松浦

【ニュースポーツ用具
(モルック)】

二里

【麻雀セット】



東山代

【ボッチャセット】

山代

【映画上映用プロ
ジェクター、DVD】



基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2023年版の推進

- ①未来を託す子育て応援都市
- ②未来を先取るデジタル都市
- ③競争に打ち勝つ産業都市
- ④世界に向けた港湾都市
- ⑤SDGs推進都市

その他



大坪保育園・コミュニティセンター複合施設の整備

世代間交流や地域の子育て力の促進など地域交流の拠点整備として、公共施設再編（ファシリティマネジメント）の観点も踏まえ、老朽化している大坪保育園と大坪コミュニティセンターの複合施設を整備した。 *保育園とコミュニティセンター（公民館）の複合施設は県内初で全国的にも例が少ない



- 完成 令和4年3月
- 事業費 5億3,281万1,000円
- 構造 鉄骨造平屋建
- 延床面積 1517.05㎡
うちコミュニティセンター754.07㎡
保育園 762.98㎡

松浦健康増進施設の供用開始

佐賀県西部広域環境組合とさが西部クリーンセンター対策協議会で締結した「地域振興策協定」に基づき、松浦コミュニティセンターの隣に建設し、令和5年4月1日に供用を開始した。トレーニングやスポーツができ、子どもたちが遊べるキッズスペース等を備える

○使用料の無料化による健康づくりの推進

市民の健康づくり活動の推進を図るため、施設を無料で利用できるよう、市が使用料を負担する

松浦健康増進施設



松浦コミュニティセンター

東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備

耐震基準を満たしていない東山代小学校と併設する留守家庭児童クラブ、コミュニティセンター等を県内初の複合施設として新たに整備する

- 令和3年度 基本設計
- 令和4年度 実施設計
- 令和5・6年度 建設工事
- 令和7年4月 開校予定
- 令和7年度 外構工事



○総事業費
29億8千万円

○構造
鉄筋コンクリート造
3階建て

○延床面積
5,950㎡

 令和6年度完成

令和6年度に佐賀県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、伊万里市では、国民スポーツ大会で4競技、全国障害者スポーツ大会で1競技実施する。

今年度は国民スポーツ大会の4競技のリハーサル大会を開催しており、5月に軟式野球競技、7月にビーチバレー協議を実施した。

1. 国民スポーツ大会

(1) オープンウォータースイミング競技

(日程) 令和6年9月 (会場) イマリンビーチ

(2) ビーチバレーボール競技

(日程) 令和6年9月 (会場) イマリンビーチ

(3) ホッケー競技

(日程) 令和6年10月

(会場) 国見台球技場、伊万里ホッケーフィールド

(4) 軟式野球競技

(日程) 令和6年10月 (会場) 国見台野球場

2. 全国障害者スポーツ大会

(1) フライングディスク競技

(日程) 令和6年10月

(会場) 国見台陸上競技場

SAGA 2024 国 ス ポ
全障 ス ポ
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



伊万里市の新たなロゴマークの誕生

1. ロゴマークデザイン

本市を代表するモノやサービスへの愛着や誇りを高め、伊万里のブランドイメージの信頼性を証明し発信するため、令和5年6月1日に新たなロゴマークを発表

(1) シンボルマーク

「伊万里」と聞いた時に誰もが連想する、伊万里焼や特産品の伊万里牛、梨、ぶどう、伊万里湾のカブトガニ、大川内山の風鈴まつり、伊万里の海や山などの自然と、青海波霞文や櫛歯文などの伝統的な紋様をあわせ、伊万里の豊かな文化を表現

(2) ログタイプ

伊万里の情報を発信していくinformationの「i」と、伊万里の豊かな文化に驚いてほしいという意味を込めた「!」を表現

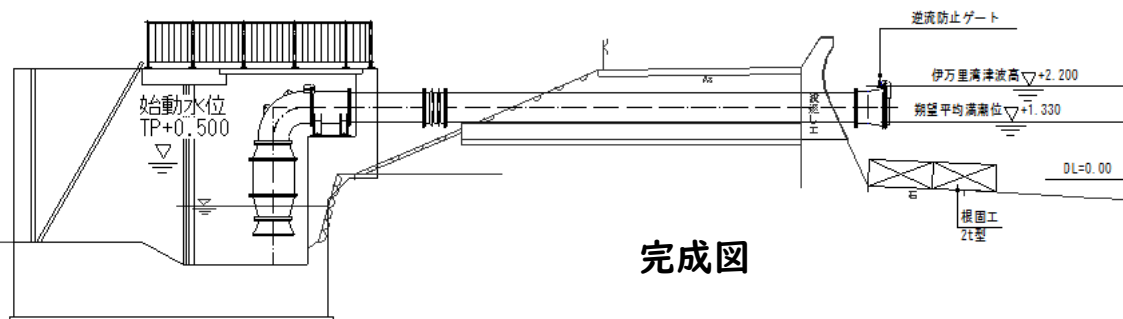


iMAR!

楠久津地区浸水対策事業

目的 大雨時に地区内の建物の
浸水被害の低減を図る

- ◆施工場所 伊万里市山代町楠久津地内
- ◆総事業費 2.92億円
- ◆工事着工 令和3年 3月
- ◆完 成 令和4年 8月



施設概要

- ・縦軸一体型水中ポンプ 2台
(φ700mm 排水量1.0m³/s)
- ・自家用発電機(屋外型) 1台
(125KVA タンク容量600L)
- ・スクリーン、操作架台 1式
- ・配管設備 1式



iMAR!

